

## 第 39 回バイオマスタウンの公表

### 【新規公表：3 構想の概要】

#### 神奈川県大磯町（おおいそまち）

大磯町は、地域で発生する生ごみの資源化、廃食用油の BDF 化、剪定枝のチップ化、し尿汚泥・家畜排せつ物・農漁業廃棄物の有効利用を通してごみの減量化・資源化、循環型社会の形成を目指す。

#### 三重県名張市（なばりし）

名張市は、持続可能な取組として、需要と供給のバランスを図って地域内で利活用を基本とし、インプットとアウトプットを多元化することを理念に、①森林資源の利活用、②一般生活廃棄物の利活用、③住民参加型の利活用を特徴にして、たい肥化のほか、バイオガス化、バイオエタノール化、エマルジョン燃料化、ペレット燃料化などによるエネルギー化や、木質系バイオマスのマテリアル利用により環境産業の創造を目指す。

#### 大阪府河内長野市（かわちながのし）

河内長野市は、市域の 7 割が森林という特性を活かし、薪ストーブを公共施設に設置し、薪等の利用を行うなど木質バイオマスの利活用や、従前から拠点回収を行ってきた廃食用油を SVO 又は BDF としてエネルギー利用に取り組むなど、河内長野らしい豊かな自然を活用した「環境調和都市」の実現を目指す。